

みなみはちろうほうけん がく
107. 南八郎奉献額

■ 指定日

昭和57年10月9日

■ 種別

有形文化財 歴史資料

■ 年代

江戸時代

■ 所在地

朝来市山口

■ 所有者

山口八幡社



■ 内容

幕末の生野義挙の指導者の一人で、長州奇兵隊の南八郎(本名 河上弥市)が、文久3年(1863)10月13日義挙に敗れ自刃の前日、制札を削って墨書し、八幡社へ奉献したもの。
「議論より実を行なへ、なまけ武士 国の大事をよそに見る馬鹿」とある。